

## 令和4年度 第3回 学校運営協議会 議事録

日 時 : 令和5年度3月22日(水) 13:30~

場 所 : 本校 応接室

司会者名 : 中島

記録者名 : 瀧本

出席者 : 学校運営協議会委員5名

欠席者 : (委員) 東 宣子 様 \*書面にて意見聴取

(委員) 鈴木 学 様 \*書面にて意見聴取

(委員) 樋口 和幸 様

(委員) 長谷川 泰夫 様

### 1 次 第

(1) 校長挨拶

(2) 議事

各グループからの報告及び意見交換

○カリキュラム開発グループ

・スタディサプリの成果について

○ガイダンスグループ

・令和4年度卒業生の進路状況について

○学校管理運営グループ

・防災体制について

・学校運営について

○企画研究グループ

- ・ 志願倍率について
- ・ 令和4年度広報活動（学校説明会・中学校訪問）について

○生徒指導グループ

- ・ 各生活指導について（挨拶・服装・遅刻・交通安全指導 等）

2 配付資料

- (1) 令和4年度 学校評価報告書

3 役割分担

- (1) 司会・進行【中島】
- (2) 記録 【瀧本】

4 議事録

- (1) 議事

【カリキュラム開発グループ】

○スタディサプリの成果について

- ・スタディサプリの活用をすすめた。学年職員と協力しながら、長期休業期間にも課題配信を行うことで家庭における学習習慣の定着や資質・能力の育成を目指した。

【ガイダンスグループ】

○令和4年度卒業生の進路状況について

- ・就職希望者の90%以上が第一志望で内定をいただいている。
- ・実質、進路未決定者はゼロを達成している。
- ・今年度、「HANDY 進路指導室」というアプリを導入し、家庭で保護者と生徒が一緒にスマホから求人票を閲覧できるシステムを整備した。

#### 【学校管理運営グループ】

##### ○防災体制等について

- ・8月にDIG訓練を実施した。

##### ○学校運営について

- ・ICTを活用し、事前の情報共有により、会議の時間を減らすことができた。また、ペーパーレス化がすすみ、印刷代が削減された。

#### 【企画研究グループ】

##### ○志願倍率について

- ・総合技術科0.90倍、総合ビジネス科1.08倍と目標達成はできなかったが、よい学校アピールができた。来年度も学校説明会は工夫し継続していきたい。
- ・ホームページをこまめに更新した。

#### 【生徒指導グループ】

##### ○各生活指導について（挨拶・服装・遅刻・交通安全指導 等）

- ・服装・遅刻など、学年の先生を中心に指導を行っている。
- ・スクールカウンセリングの活用率が上がり、相談しやすい環境がつくられた。

## 5 意見交換

### ○スタディサプリの成果について

【中委員】電子黒板の使い方など、ICTの具体的な活用方法とは？

検定・資格などの指導を行い、一定の成果をだしているのは評価できる。

【兼田委員】一人一台端末によるスタディサプリの活用率は良好であるか。

主体的に学ぶ力をジャムボード等活用し、学習するのはぜひ続けてほしい。

【鈴木委員】スタディサプリの活用については、現状を分析した上で活用の推

進に向けた動きをすすめることが必要である。

### ○生徒指導・支援について

【鈴木委員】4年間の目標に掲げている「社会人基礎力と豊かな人間性を育む」

や「主体性を育み自立した人間性の育成を図る」についても、積極的に取り組んでほしい。

### ○令和4年度卒業生の進路について

【中委員】進路のサポートがしっかりしていて素晴らしい。より

多くの情報が生徒に届くとよい。

【鈴木委員】進路未決定者ゼロの実現や進路に係る事務処理において事故ゼロ

を実現できたことは評価できる。

### ○防災体制等について

【中委員】防災で、KY活動（危険予知）は実施されているか。

【中村委員】ICTのセキュリティ教育などもしっかり教育してほしい。

商業と工業の交流、多様性を大事にしてほしい。

○学校の広報活動について

【鈴木委員】ホームページの更新も継続し、魅力の発信を続けてほしい。

○志願倍率について

【中委員】校舎がきれい。設備が整っていることをアピールしてほしい。

短大などと連携して、情報交換など継続してほしい。

【兼田委員】連携協定はよいと思うのでぜひ続けてほしい。

【鈴木委員】企業や上級学校と連携をすすめていることは素晴らしいと思う。

今後も続けてほしい。

【校長】日本工学院、東京工科大学と今年度中に連携協定を結ぶ予定である。

学生同士の交流など活用していく。また、大原学園、FMヨコハマと連携協定を結んでいる。

○各生活指導について（挨拶・服装・遅刻・交通安全指導 等）

【中委員】部活動を通じて地域との交流も考えてほしい。

【和光委員】たくさんの大人がいる中で子どもが成長できるのは、商工の強みであると思う。

【東委員】自転車通学をする生徒の交通マナーを指導してほしい。

○地域連携について

【東委員】新型コロナウイルス感染拡大が下火となる中で、地域の行事も復活しようと考えている。商工生徒の参加を心待ちにしている。

○ミッションに沿った学校経営の推進について

【鈴木委員】両科の教育を融合させる試みは評価できる。その中で育成を目指す職業人の具体像を示すことも必要ではないか？また、Teamsを活用した業務の効率化にも継続して取り組んでほしい。

6 終わりの言葉

【校長】四年間の中の一年間の目標ということで、来年度はまた新たな目標 達成に向かってやっていきたい。今回いただいた学校関係者評価をもとに来年度に向けて検討していきたい。今後ともご意見等いただければと思いますので、よろしくお願いします。